

北海道高等学校文化連盟 第9回全道高等学校軽音楽大会開催要項

- 1 主 催：北海道高等学校文化連盟
- 2 後 援：北海道教育委員会、幕別町、幕別町教育委員会、北海道高等学校軽音楽連盟
- 3 主 管：北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部、北海道高等学校文化連盟十勝支部
- 4 当 番 校：北海道幕別清陵高等学校
- 5 協 力 校：北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部十勝支部
- 6 期 日：令和6年5月23日（木）・24日（金）
- 7 会 場：幕別町百年記念ホール（〒089-0563 中川郡幕別町字千住 180 0155-56-8600）
- 8 大会参加料：バンドメンバー1名につき1,000円とする。（2バンド掛け持ちの者は1名で計算する）
振込先 高文連軽音楽専門部 全道大会当番校 代表 小島 政裕
帯広信用金庫 札内支店 普通 1316217

9 参 加 資 格：

- (1) 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- (2) 参加にあたっては、以下の条件を満たすこと。
 - ア 北海道高等学校文化連盟の目的及び永年の活動を理解し、尊重すること。
 - イ 日頃より軽音楽関連部活動で活動し、単独の学校の同一活動内に所属していること。
 - ウ 支部大会または映像審査から参加していること。
 - エ 大会開催要項及び申し合わせ事項を守り、大会の円滑な運営に協力すること。
 - オ 大会参加に際しては、当該校長の許可のもとに責任ある教員が生徒を監督引率すること。
 - カ 大会開催に要する経費及び参加料・出品料等について、応分の負担をすること。
 - キ その他については、高文連専門部並びに当番校の指示に従うこと。

10 部 門：

- (1) オリジナル部門：参加バンドメンバーが作詞・作曲した曲の演奏に限る。
- (2) コ ピ ー 部 門：既存の楽曲またはそれらの曲をリアレンジ（カバー）したものを演奏する。
※オリジナル部門グランプリのグループについては第11回全国高等学校軽音楽コンテスト（8月21日 神奈川県小田原市）の北海道代表権を与える。

11 参加申込み

(1) 必要資料

- ア 下記エントリーデータ（2024全道大会エントリーシート（〇〇高校）.xlsx）
 - ・エントリー用紙①（学校エントリー用紙）
 - ・エントリー用紙③（バンドエントリー用紙）
 - ・エントリー用紙④（歌詞カード&コンセプト用紙）
- イ パンフレット用写真（制服着用・全員の顔がわかるもの・横長・1MB以内）
- ウ 大会参加申込書（記入・押印後、PDF化したものを送信。原本は大会当日受付に提出）
※各校様式「大会参加承諾書」の原本は、全道大会終了まで各校顧問で保管お願いします。

(2) 提出期限

- ア、イ、ウについては令和6年5月10日（金）までに大会事務局までデータで送信する。
- 8の大会参加料も令和6年5月10日（金）までに指定の口座に振り込むこと。

12 宿 泊 申 込：名鉄観光帯広支店を通じて以下のホテルを斡旋します。

斡旋施設 十勝幕別温泉グランヴィリオホテル（〒089-0571 北海道中川郡幕別町字依田 384-1）
駅、ホテル、会場間の送迎バス付き。

※詳細は別紙をご確認ください。大会当日5/24(金)の札幌方面JR帯広駅17:51発の便、および大会翌日5/25(土)の10:00以前に帯広出発の便には送迎できませんので、あらかじめご了承ください。

13 大会事務局：北海道幕別清陵高等学校 出 崎 圭 介

（当番校）〒089-0571 中川郡幕別町依田 101 番地 1

TEL：0155-55-6500 FAX：0155-55-6501 E-mail：k_dezaki@hokkaido-c.ed.jp

北海道高等学校文化連盟 第9回全道高等学校軽音楽大会実施要領

1 目的：北海道高等学校における軽音楽系活動に所属する生徒に発表の場を与えると共に、各校軽音楽系活動の活性化を図る。

2 大会運営：

- ・大会長 加藤 誠 北海道高等学校文化連盟会長（北海道札幌北陵高等学校長）
- ・副大会長 高橋 一矢 北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部長(北海道札幌厚別高等学校長)
- ・大会委員長 小島 政裕 （北海道幕別清陵高等学校長）
- ・大会副委員長 浅見 聡 （北海道幕別清陵高等学校教頭）
- ・大会総務委員長 田澤 英貴 北海道高等学校文化連盟軽音楽専門委員長（北海道札幌厚別高等学校）
- ・大会総務副委員長 北山 義大 北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部事務局長（北海道札幌旭丘高等学校）
- ・大会運営事務局長 出崎 圭介 北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部十勝支部専門委員（北海道幕別清陵高等学校）
- ・大会運営副事務局長 小松 瞬 北海道幕別清陵高等学校軽音楽部顧問（北海道幕別清陵高等学校）
- ・大会総務役員
 - [石狩] 山下 大志（札幌市立札幌新川高等学校）
 - [道南] 佐々木 正吾（北海道函館水産高等学校）
 - [後志] 三宅 大介（北海道小樽水産高等学校）
 - [空知] 渡部 哲哉（北海道美唄尚栄高等学校）
 - [道北] 木村 怜史（北海道美深高等学校）
 - [室蘭] 大地 豪（北海道伊達開来高等学校）
 - [苫小牧] 山岸 拓（北海道鶴川高等学校）
 - [釧根] 岡田 岳人（北海道中標津高等学校）
- ・大会運営協力 北海道帯広柏葉高等学校ポピュラー音楽研究部

3 日程：

期日	行事など	備 考
4/25（木）	映像審査用参加申込資料締切	各支部より（支部大会がない地区の学校を含む）
4/28（日）	全道大会出場者決定予定	全道大会推薦会議にて選考
4/29（月祝）	出場者公式発表予定	ホームページにて発表、メールにて申込資料配布
5/10（金）	全道大会申込〆切	メールにて申込
5/22（水）	会場大会実施準備	幕別町百年記念ホール
5/23（木）	リハーサル・交流会	幕別町百年記念ホール
5/24（金）	決勝ライブ・開閉会式	幕別町百年記念ホール

4 参加規程及び注意事項

- （1）支部大会（予選ライブ）、または推薦会議・当番校推薦などで選ばれた各部門10組程度による全道大会（決勝ライブ）である。
- （2）予選と同様に1組につき1曲の演奏（5分以内）であり、予選ライブからの曲目の変更、メンバーの追加およびメンバーの変更は体調不良の場合も含めて一切認めない。
- （3）楽器演奏を含むものであること。また、コピー部門においてカバー演奏（リアレンジ）をする場合には、コンセプト用紙に必ずその旨を記載すること。
- （4）大会参加にあたっては、個人情報保護法及び肖像権の規定に関する道高文連軽音楽専門部の方針を承諾した上で参加すること。

ア 氏名、学校名、学年、写真、演奏時の映像等の個人情報はプログラムや記録集、ホームページ、YouTube 配信、YouTube 映像、新聞・報道機関等に掲載される場合があること

イ 道高文連軽音楽専門部が許可した関連機関で上記の個人情報が公開される場合があること

(5) 同一バンドで両部門に参加することは認めない。また、同一人物の複数バンドへの掛け持ちは2つまでとし、任意の2バンド内において構成メンバーの重複が半数を超えないものとする。

5 大会内容

会 場：幕別町百年記念ホール（中川郡幕別町字千住 180 Tel 0155-56-8600）

期 日：令和6年5月23日（木）リハーサル・交流会

24日（金）開会式・大会・表彰式・閉会式

時 程：

○5月23日（木）

11：00～12：00 出場者受付
12：00～14：00 リハーサル前半
（転換込み 1バンド 10分）
14：10～16：20 リハーサル後半
（転換込み 1バンド 10分）
16：40～17：30 交流会①
17：30 解散予定

○5月24日（金）

9：00 出場者受付（～9:30）
9：30 開場
9：45 開会式
10：00 開演 コピー部門（1バンド 10分）
12：10 休憩
13：10 オリジナル部門（1バンド 10分）
15：20 演奏終了・審査・交流会②
16：30 審査発表・閉会式
17：30 解散予定

※ 交通事情などにより、リハーサル・大会当日の要望があれば、大会申込時に事務局に申し出ること。

<出演者の動き>

出演者の動きは以下の通り。ステージ上の動きに合わせて（目安10分程度ずつ）場所を移動していく。

控室（楽器をもつ。ケースは置いておく）→チューニングルーム①（チューニング、指慣らし等）
→チューニングルーム②（アンプ等あり 合奏可）→ステージ袖待機→演奏
→インタビュー→退場
※次のバンドが演奏準備をしているときに、演奏者全員がインタビューを行う。

(1) 大会に持参しなければならないもの（運営側に準備がないもの）

・ギター、ベース、キーボード（シールドケーブル、ラインアウト【必要な場合。PAから出力できる機材】を含む）、ドラムスティック等、シールドケーブル（5m以上推奨）

6 審査、および表彰について

(1) 審査員は5名程度とし、音楽系の企業、専門家にも打診する。

(2) 審査においては演奏技術・アレンジ力・完成度・表現力などを評価の対象とする。審査の結果、上位入賞者に対して総合グランプリ（1バンド）、グランプリ（各部門1バンド）、準グランプリ（各部門1バンド）、奨励賞（各部門1バンド程度）、特別賞（パート別個人表彰）を与える。

(3) 審査結果は道高文連軽音楽専門部 HP などに公表する。

※ オリジナル部門グランプリのグループについては第11回全国高等学校軽音楽コンテスト（8月21日 神奈川県小田原市）の北海道代表権を与える。

7 細則（参加生徒への徹底をお願いします）

(1) 決勝ライブの審査・評価について、以下の場合は審査対象外とする（演奏は可能）

- ・予選ライブからのメンバー変更、追加または曲目変更

※ただし、メンバーの減員については審査の対象内とする。止むを得ずメンバー変更の場合は、変更・追加・減員いずれの場合でも当番校へ申し出ること。

- ・当日バンドメンバーが受付時間に遅刻、または欠席（体調不良、忌引きなどの理由も審査対象外となる）ただし、公共交通機関の大幅な遅延などの場合はこの限りではない。

- ・演奏時間が5分を超えたとき。（演奏時間とは、司会者が「どうぞ」と声をかけてから、演奏を終了し、演奏者が「ありがとうございました」と結ぶまでの時間とする）

- ・応援、見学、演奏時を含めて高校生としてふさわしくない行為があった場合

（２）演奏順については大会事務局によって公平に決定する。

（３）リハーサルについて

- ・本番の時間と同様に、リハーサルも時間が限られています。時間超過せずに充実したリハーサルができるように、予めリハーサル自体の練習を行って本番に臨んでください。
- ・適切なリハーサルの仕方については別紙で「リハーサルの心得.pdf」を添付しております。生徒への周知徹底をお願いいたします。

（３）使用機材一覧、および機材についての注意

- ・会場に設置されている楽器・アンプ・PA 機材等は様々な企業や学校の協力により借用したものである。使用にあたっては細心の注意を払い、くれぐれも破損、故障等のないようにすること。

（急遽機材が変更になることもある）

ギターアンプ ①Marshall JCM900 ②Roland JC-120

ベースアンプ Ampeg SVT3 PRO

Keyboard KORG D1

ドラム YAMAHA YD-9000 BD:22" FT:16" TT:14",13" CR:16",18" RD:20" HH:14"

※ 使用するマイクについては演奏終了後、スタッフがすべて消毒し使用する。

（４）機材についての注意

ギターアンプ、ベースアンプなどのアンプ類は、電圧がかかったままシールドケーブルを抜き差しするなど音を出す手順を間違えると、スピーカーにスイッチングノイズ(ボンッ！というような音)が送られて、機材を傷めてしまうことがある。必ず、以下の手順で操作すること。

- ① シールドをつなぐ等、セッティングを終わらせてから、電源のスイッチを入れる準備をする。
- ② スwitchを入れる前に、ボリュームがゼロであることを確認する。
- ③ その際、複数のスイッチがある場合は、スピーカーから遠い機材を先にして電源を点ける。
- ④ ボリュームをあげて、音量を調整する。

※ 消すときの手順はこの逆になる。

- ・マイクを振り回したり息を強く吹きかけたり叩いたりしないこと。また、網の部分をつまんだり、口に斜めに向けたりすると、きちんと音が拾えなくなる。ハウリング(キーンという音)を起こす恐れがあるため、マイクをモニタースピーカーに向けるのは厳禁である。
- ・ドラムのセッティング(タムの位置やシンバルの高さ・角度など)を変えるときは、必ずネジを緩めてから動かすこと。無理に動かしてしまうと、ネジが利かなくなり位置が固定できなくなる。
- ・ドラムを思い切り力任せに叩く生徒を時々見かけるが、決していい音は出ない。ヘッド(打面)を傷めてしまうだけである。また、シンバルが割れないよう大切に扱うこと。
- ・ボリュームを上げたままでジャックを抜き差ししたり接触不良のシールドを使用したりしたときに出る『ガリガリ』という音は、出力が極端に大きい場合に、音響のシステム全てを壊す恐れがある。ボリュームを下げることを忘れないこと。また、ギターやベースからジャックが抜ける事故を防止するため、シールドケーブルをストラップに通すこと。マイクを落としたときなどに発生する音も、同様の事故につながるがあるので十分注意すること。
- ・持参する機材(ギター、ベース、キーボード、シールドケーブル等)は、前日までに接触不良等がないか、

必ずチェックしておくこと。また、エフェクターの電池は新品のものに交換しておく。スティックは複数本用意しておく。ステージが広く、シールドケーブルが短いことで宙に浮く状態は大変危険なので、5 m 以上の長いものを必ず用意する。また、不測の事態を想定して、各校で交換用のシールドを 1 本以上用意しておくこと。なお、ステージに持参した全てのものに必ず記名をすること。

- ・アコースティックギターを使用する際、ピックアップがない場合はマイクで音を拾うこともできるが、音量に限界があり、バンドでの演奏の場合音が聴こえないなどの問題が起こることがある。したがって、ピックアップの準備を勧める。尚、ダイレクトボックス等の持ち込みも可である。
- ・キーボードを各自持ち込む場合はケーブル、A C アダプター、必要に応じてサスティンペダルまで用意すること。なお、原則として出力はフォンとする。会場ではキーボード、スタンドの用意はあるが、個人のもので持参しても構わない。

8 その他

- ・決勝ライブについての追加の詳細は道高文連軽音楽専門部のHPにて随時公表していくので確認すること。

※ 北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部 HP → <http://www.koubunren.k-on.hokkaido-c.ed.jp/>